

報告 1 第 2 次健康日本 21 こまき計画「健康こまきいきいきプラン」

後期計画の母子保健に関する事項についていただいた意見と結果

委員からいただいた意見、指摘事項等	計画についての方針
●栄養・食生活に関する指標等について	
<p>・「朝食を毎日食べる人の割合」の指標について園児と幼児の 2 つがあげられている理由がわからない。(園児は幼児に入るが、なぜ園児と幼児に分けて朝食の摂取割合を指標にあげているのか)</p>	<p>幼児期でも就園児と未就園児でライフスタイルが変化することで、朝食の摂取状況が変わると考えられることから、園児・幼児期と分けて記載しています。 …P 48 参照</p>
●身体活動・運動に関する指標等について	
<p>・「日常生活動作において歩行または同等の身体活動を 1 日 1 時間以上の実施している人の割合」の指標で、歩行と身体活動では活動量がかけ離れており、表現を変えた方がよいのではないか。</p>	<p>・特定健診の質問項目のため、質問票の中に加筆するのは難しく変更しません。…P 55 参照</p>
<p>・子どもの身体活動に関係する新しい指標があれば盛り込むと良いのではないか。</p>	<p>・市内小学校で小学 5・6 年生と中学生を対象で毎年実施している「新体力テスト」の質問「授業以外で週 1 回以上のスポーツ(運動)の実施率」を指標とします。 …P 55 参照</p>
●休養・心の健康に関する指標等について	
<p>・「子どものテレビやDVDの 1 日の視聴時間が 2 時間未満の子どもの割合」の指標について、テレビやDVDに限らず、最近はスマートフォンやタブレットを見ている子どもも少なくない。スマートフォンなどの文言を入れてみてはどうか。</p>	<p>・令和 2 年度から幼児健診の質問票にスマートフォンやタブレットなどを含めた文言に変更します。…P 63 参照</p>
<p>・自己肯定感を高められる取り組みについて子どもだけに限らず、保護者の自己肯定感を高められるような取り組みを検討してほしい。</p>	<p>・「育てよう、自己肯定感」の出前講座を受講者の年代に合わせた内容で開催するとともに、乳幼児健診時において保護者へ働きかけを進めていきます。…P 57～63 参照</p>
<p>・相談相手のいる保護者の割合について幼少期より小中学校の保護者の方が、相談相手がいないと聞きます。小中学校の保護者を指標の対象にしてはどうか。</p>	<p>・子育ての早い段階である乳幼児期に相談できる場所を知ってもらうことが、その後の子育てにおいて重要と考えているため、引き続き乳幼児期の保護者の割合を後期計画の指標とします。</p>
●歯の健康に関する指標等について	
<p>・第 1 大臼歯と歯肉炎の目標値についてむし歯は減少してきているので、第 1 大臼歯だけでなく、全体的なう蝕の状況をみる指標に変えると良いのではないか。</p>	<p>・小学 6 年生から中学 3 年生までが永久歯列の完成期で第 1 大臼歯の保持が歯科保健では重要であるため、引き続き中学 3 年生の指標を活用します。…P 79 参照</p>
<p>・歯周病のリスクを考えると、小中学生より高校生の方が高くなることから高校生の指標があるとよいのではないか。</p>	<p>・市内の高等学校に在籍する生徒が全て小牧の生徒ではなく把握が難しいことから、指標にしません。</p>

●部会毎の取り組みについて

・各部会において健康づくりの方策を取り組んでいますが、部会の枠を超えてタイアップして取り組んでいく方が効率的だと思います。

・健康づくり推進協議会でもご意見をいただいております、各部会での課題や取組みを事務局で共有するとともに、各部会に還元していけるよう進めていきます。